

第32回 花の国づくり共励会

花き技術・経営コンクール

受賞者の業績概要

令和5年2月

一般財団法人日本花普及センター

第32回花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール 受賞者一覧表

【農林水産大臣賞】

三井 清和 （みつい きよかず）（三和園）千葉県南房総市
三井 てるみ（みつい てるみ）
切花（カーネーション）

岩瀬 全安 （いわせ まさやす）（有限会社三洋園芸）愛知県西尾市
苗物（ハーブ苗：ローズマリー、ミント、バジルなど）

【農林水産省農産局長賞】

吉原 一成 （よしはら かずなり）（株式会社イッセイ花園）栃木県日光市
鉢物（シクラメン、マーガレット、ペラルゴニューム、カリブラコア、
ハイドランジア、ジャメスプリタニア、アンゲロニア、アスターなど）

【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

米本 順二 （よねもと じゅんじ） 長崎県佐世保市
米本 道子 （よねもと みちこ）
露地花き 苗物・切花（パンジー・ビオラ、ハボタン）
施設花き 鉢物・苗物（アルメリア、ランタナ、ポーチュラカ、ポインセチア、長
崎ラベンダー、マンデビラ、チョコレートコスモス、ハイビスカス、ネ
メシア、マリーゴールドなど）

第3 2回花の国づくり共励会（令和4年度）花き技術・経営コンクール

審 査 講 評

第3 2回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール受賞者の皆様方には心からお祝いを申し上げます。花き技術・経営コンクールは、花の国づくり都道府県協議会などより推薦がありました経営体について、6名の審査委員により、提出された書類ならびに県などへの聞き取りおよび現地調査に基づき厳正に行われました。その結果、本共励会の最高賞である農林水産大臣賞には、次の2経営体が選ばれました。

千葉県南房総市の三井清和・てるみご夫妻は、カーネーション生産経営を営んでいます。清和氏は、農業短期大学を卒業後、昭和54年に親元でもあるカーネーション農家に就農しました。一方、てるみ氏は昭和63年の結婚を機に就農しました。平成11年に清和氏、てるみ氏、父、母の4名による家族経営協定を締結し、常に最新の技術を積極的に導入して使いこなすことにより、経営規模の拡大と品質向上、安定生産の両立を目指しています。

栽培面では、地域に先駆けて養液土耕栽培やノズル移動式防除装置といった省力化機器を導入し、また、ヒートポンプ、炭酸ガス発生機、環境制御技術などのスマート農業技術を駆使することでより高収量と高品質を実現しています。出荷・販売面では、市場出荷が9割を占めていますが、近隣の生産者と共同販売を行うことで、ひとつのまとまった産地として認識されるように努めています。また、栽培品種の重複を避けオリジナル性を出せるように工夫をしています。さらに、花店や道の駅等での直接販売のほか、南房総市が開設したインターネットのアンテナショップでの販売など、新しい販路を模索しながら有利販売を目指しています。雇用管理面では、選花、箱詰め、予冷など作業動線の改善、短時間勤務や週3日勤務の導入などで、より働きやすい環境作りに努めています。環境保全面では、施設園芸セーフティネット構築事業に加入することにより省エネ対策の実践や燃油価格高騰の影響緩和を行うほか、もみ殻や米ぬかを発酵させた自家製たい肥を活用するなど地域内での資源循環にも取り組んでいます。さらに、県花き連の会長職を務め、研修生の受け入れや若手生産者の指導など地域社会活動にも貢献しています。

このように、近年の輸入カーネーション販売割合増加の中で、創意工夫により安定した生産経営を維持していること、雇用や環境に配慮した生産を実施していること、過去3年間において出荷数量、経営収支とも安定していること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞に相応しい花き生産の模範となる経営体であると判断されました。

愛知県西尾市の岩瀬全安氏は、ハーブ苗生産経営を営んでいます。観葉植物生産農家になる決意を持ち、市内の観葉植物生産農家で2年間の研修を受けた後、昭和60年に野菜農家である親元で就農すると同時に観葉植物の生産を開始しました。その後、時代の流れに沿って、生産作目を観葉植物から花き苗、野菜苗へと変化し、平成24年からはハーブ苗生産を開始しています。この間、平成10年に有限会社三洋園芸を立ち上げ、事業の拡大を図ってきました。

栽培面では、既存のハーブ苗品目から東南アジア系の熱帯産ハーブまで幅広く多様な構成を意識しつつ、年間、約130種、120万ポットを生産しています。また、新規ハーブ苗品種の導入のために、年間10～15品種を試作するほか、ハーブ栽培に特化したオリジナル用土の開発も行っています。販売面では、積極的な海外視察と現地農家とのタイアップによる新規ハーブ品種の導入や、消費者ニーズに合った高いデザイン性を持つラベルやポップを作成することなどで、付加価値提案型の営農の実践に努めています。雇用管理面では、鉢物出荷センターの利用と鉢物専用台車との組み合わせによる積み替え労力の軽減や、自動土入れ機の導入による土詰め作業の省力化を行い、繁忙期に応じた労働時間の設定や労働者の希望に沿った就業体系の採用などで労働環境の改善を図っています。環境保全面では、資材のリサイクルや中古トレイの使用を実践するほか、物理的防除の徹底などで、農薬使用量を軽減しています。さらに、愛知県農業経営士として、地域のリーダーとして地域社会活動へ参画して地域農業の担い手育成や花き産業に大きく貢献しています。

このように、ハーブ苗生産経営において創意工夫により安定した生産・販売を維持していること、雇用や環境に配慮した生産を実施していること、過去3年間において出荷数量、経営収支とも安定していること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞に相応しい花き生産の模範となる経営体であると判断されました。

農林水産省農産局長賞に選ばれました次の経営体は、農林水産大臣賞に選ばれました経営体に収益性、あるいは、経営の安定性の上で僅かに及ばないものの、以下に述べる点で高く評価されました。

栃木県日光市の吉原一成氏は、鉢物生産経営を営んでいます。短期大学卒業後、園芸農家で1年間の研修を受け昭和52年に就農しました。水稻と鉢花の複合経営から平成10年に鉢花専業経営となり、令和2年には法人化し、株式会社イッセイ花園を立ち上げました。シクラメンの生産を主体に、規模拡大を図るとともに約10種類の花き品目を組み合わせた周年生産体制を確立し、持続的な経営、雇用、環境の改善を目標に、経営の安定と継承に努めています。

栽培面では、管理のマニュアル化による品質安定生産技術の確立、作業の省力化・効率化、施設ローテーションの効率化・安定化に向けた品目の選定、品種の育成などに努めています。良質鉢花の生産をするために、例えば、シクラメンの葉組みでは通常の倍以上の回数を行うなどの管理に留意し、花数を確保することで長く美しく楽しめる花き生産につなげています。販売面では、鉢物生産者の販売促進研究グループに所属し、新たな消費・販売先の開拓やシクラメンの指定鉢による高付加価値化など様々な取り組みを行っています。また、各市場のトレードフェアや種苗会社のパクトリアル等に積極的に出向き情報を収集することで、消費者ニーズの把握に努めています。雇用管理面では、底面給水の導入で実現した労力削減分を、他作業へ配分することが可能になり、品質向上につながっています。また、法人化の際に正社員採用を行い、社会保険への加入や福利厚生の実施に努めています。環境保全面では、変温管理による燃油使用量の削減やRRフレックス診断に基づく適切な肥培管理などで持続可能な農業に貢献しています。さらに、栃木県鉢物研究会会長就任をはじめ、地域農業全般の中心的存在として活躍し、幅広く農業振興に貢献しています。

このように、鉢物生産に安定した経営を実現し、地域の花き生産振興に寄与していることが評価されました。

一般財団法人日本花普及センター会長賞に選ばれました次の経営体は、以下に述べる点で評価され本賞に値すると判断されました。

長崎県佐世保市の米本順二・道子ご夫妻は、切花・鉢物・苗物生産経営を営んでいます。順二氏は農林省農業者大学校を卒業後、昭和54年に就農し、道子氏は結婚1年後の昭和62年に就農しました。花き商品性の向上を模索する中で、オリジナル商品や新品種の作出など、新しい商品開発に積極的に取り組むことで認知度アップや販売単価の維持に努めています。

栽培面では、防虫ネットの設置、軟弱で徒長しやすい品目の露地での栽培、品目や作型の組み合わせによる施設のフル活用、低温に強い品目の早出しなどで、周年出荷を実現し、小面積栽培でも高い収益を上げています。販売面では、ブログによる消費者への情報発信やオリジナル商品の継続したPRにより知名度が定着したことで販売額が年々向上しています。また、安定した販売に向け、種苗会社を通じた契約販売に取り組んでいます。さらに、香港市場をターゲットに長崎ラベンダーの輸出にも取り組んでいます。雇用管理面では、中小企業退職金共済に加入し、従業員の離職率の減少や就労意欲のアップを図っています。境保全面では、生物農薬を使用することで一般農薬の使用を減少させています。さらに、順二氏は長崎県花き振興協議会鉢物部会ラベンダー研究会会長を務めており、ラベンダーの受注や出荷の調整にリーダーシップを発揮しています。一方、道子氏は、農業士として活躍しており、農業大学校研修生を積極的に受け入れるなど後継者育成に尽力しています。

このように、切り花・鉢物・苗物生産経営において安定した経営を実現し、地域農業の発展に貢献していることが評価されました。

令和4年は、昨年同様に新型コロナウイルス変異株に振り回された年でありましたが、同時に新型コロナウイルスとの共生を考えさせられた年でもありました。気象上では、ラニーニャ現象による高気圧勢力の拡大で異常現象が続き、花きに限らず多くの作物で生育不良や出荷への影響が懸念されました。そのような中で、今年度の審査会において推薦のあった多くの経営体が、栽培技術の高度化により生産効率を高めると共に、生産コストや環境負荷の低減に努める一方、消費者ニーズに合う品目・品種の選択、オリジナル品種の育成、輸出も見据えた新しい需要の開拓に力を注ぎ、着実な経営に腐心されていることに心強く感じました。新型コロナウイルスとの共生の中で、花き類の癒し効果が再認識されつつあります。このような中で、花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現に向けて、今後とも一層のご尽力を賜りますようお願いし、審査講評といたします。

令和5年2月3日

審査委員長

腰岡政二

【農林水産大臣賞】

三井 清和（みつい きよかず） 三井 てるみ（みつい てるみ） 千葉県南房総市
切花（カーネーション）

三井清和氏は、農業高校を卒業後、短期大学で2年間農業について学習し、就農した。てるみ氏は、結婚を機に就農し、農業に従事している。

経営規模は、県内のカーネーション農家の中で最大となっている。1999年に清和氏、妻てるみ氏、父、母4名による家族経営協定を地域内では先駆けて締結し、給与や就業条件などを取り決め、家族全員の力で発展させ、魅力ある経営を実現することとした。

常に最新の技術を積極的に導入して使いこなすことにより、経営規模の拡大と品質向上、安定生産の両立を目指している。地域に先駆けて養液土耕栽培やノズル移動式防除装置といった省力化機器を導入し、近年では、ヒートポンプ、炭酸ガス発生機、環境制御技術などのスマート農業技術の導入により高収量と高品質を実現している。

栽培技術の改善については、すべてのほ場で養液土耕栽培による品質の安定化と省力化を図っており、スマート農業技術により、収量増加と高品質化を図っている。カーネーションの栽培形態は、6月下旬に定植して10月中、下旬から6月上旬まで収穫するなど長期にわたってすべての作業をコツコツと積み重ね、丁寧な栽培管理を行うことにより、導入した最新技術や機械の能力が十分に発揮され、高収量、高品質を実現している。

市場の販売力の維持向上については、出荷は、卸売市場が9割、直接販売が1割である。市場出荷については、経営規模の拡大により出荷量の増加を図るとともに、近隣の生産者と共同販売を行うことで、ひとつのまとまった産地として認識されるように努めている。また、カーネーションの魅力は、豊富な品種である。品種によって活用シーンも様々であり、より魅力的な品種を高い品質で提供することにより、こだわりのある生花店やフローリストの支持を得ている。消費拡大への取組みや新たな販路の開拓として、出荷量の1割については、花店や地元の道の駅等での直接販売を行っているほか、南房総市が開設したインターネットのアンテナショップでの販売など、新しい販路を模索しながら有利販売を目指している。

環境保全や省エネルギーについて特に工夫や配慮した点は、2008年にヒートポンプを導入し、重油暖房機と併用してきた。また、炭酸ガス発生装置として導入したダッチジェットは、ハウス外に排熱しないため補助暖房として暖房効率を上げる効果があり省エネにつながっている。カーネーションを長年連作するには有機物を投入する等の土づくりが不可欠であり、地域で産出されるもみ殻に米ぬかを加えて発酵させた自家製たい肥を活用するなど地域内での資源循環にも取り組んでいる。

今後の改善点としては、第一にカーネーション栽培における統合環境を突き詰め、より精密な管理ができるようにし、品質も収量も向上させることを目指している。そのために、2022年に導入した低温炭酸ガス局所施用機を効果的に活用する等炭酸ガスの施用方法等の栽培管理を改善し単収を10%向上することを目標としている。

これらに向けた取組のひとつとして、所属する研究会において、県のスマート農業技術高度化事業を活用し、知識と技術のさらなる向上に努めている。



左から長男 清杜氏 三井 清和氏 妻てるみ氏 母利江氏



ハウス外観



ハウス内 カーネーション栽培の様子



今年おすすめの新品種「フレグランス」



導入した炭酸ガス発生装置

【農林水産大臣賞】

岩瀬 全安（いわせ まさやす） 愛知県西尾市
苗物（ハーブ苗：ローズマリー、ミント、バジルなど）

岩瀬全安氏は、キュウリ生産農家の長男として育ち、地元の普通高校から大学商学部へ進学した。大学時に観葉植物生産農家になることを決意したが、きっかけは、当時、観葉植物が一大ブームを迎えており、また、自身も観葉植物が好きであったことであった。

大学を中退し、観葉植物の全国有数の産地として注目を集めていた故郷の西尾市に戻った。西尾農業改良普及所に紹介を受け市内の有力な観葉植物生産者に師事した。2年間住み込みで研修を受けるとともに、研修中は、半径4km以内に80戸ほど集中していた鉢物生産農家を視察しながら多くの品目の栽培技術を磨き、現在のハーブ栽培の基礎を培った。

岩瀬氏は、バブル景気とその崩壊、ガーデニングブームとその陰りなどを経験したが、常にアンテナを張って情報収集を行っていたことや、その時代のニーズに合った品目を早急に生産するなどの高い行動力で経営危機を回避してきた。また、ヨーロッパ視察で好調販売を見せていたハーブ苗に目を付け、先駆的に生産を開始したことで新たな需要を開始した。

氏は、①ハーブ苗の生產品目を多様に構成しつつ約130種、120万ポットを生産し、既存のローズマリー、タイム、ミントといった主要の品目からオリジナルの東南アジア系の熱帯産ハーブまで幅広く生産している。また、新規ハーブ苗品種の導入のため年間10～15品種を試作している。試作品目も入れ替えることにより、品目の見直しも行っている。②高品質な苗生産を可能とするとともに、ハーブ栽培に特化したオリジナル用土の開発も行っている。ローズマリーやタイムの栽培に向く排水の良い、じっくり作りこむタイプの用土と標準的な用土の2種類を使い分けている。これらの用土は、用土の専門業者と試行錯誤して開発したものである。③消費者が分かりやすいラベルデザインやセット販売を提案し売り上げにつなげている。また、機械導入を積極的行ったことで④従業員が働きやすい環境を実現している。

花きの出荷・販売について特に工夫した点は、①積極的な海外視察と現地農家とのタイアップ、②見やすいラベルデザイン・ポップでハーブ売り場を刷新、ホームセンターのバイヤーの意見も取り込むことで消費者のニーズに合った高いデザイン性を持つラベルやポップを作成することができた。③付加価値提案型の営農の実践等に努めている。

岩瀬氏は、すぐれた農業経営を行いつつ、新規就農者等に対して指導的役割を果たす農業者として、愛知県農業経営士に認定されており、地域のリーダーとして地域社会活動へ参画して地域農業の担い手育成や花き産業に大きく貢献している。また、県花き鉢物連合会長として愛知県の鉢物生産強化を図る為、調査を行い将来的な愛知県の鉢物輸送に関する検討会等を実施した。調査・検討結果を県内の生産者全体に伝えるとともに、行政や関係者に対して提言することで県内の鉢物流通の効率化に貢献した。



左：岩瀬 全安氏 右：妻 佳代氏



ハウス外観



ハウス内 栽培の様子



露地圃場のベンチ



用途別にカテゴリ分けしたオリジナルポップ

【農林水産省農産局長賞】

吉原 一成（よしはら かずなり） 栃木県日光市

鉢物（シクラメン、マーガレット、ペラルゴニウム、カリブラコア、ハイドランジア、ジャメスプリタニア、アングロニア、アスターなど）

吉原一成氏は、短期大学卒業後、1年間園芸農家で研修を受け昭和53年4月に就農した。当初は、水稻プラス鉢花（シクラメン）の複合経営を開始し、平成10年頃から鉢花専業経営となり、令和2年1月に法人化し、株式会社イッセイ花園の代表取締役となった。

経営は、本人、妻、長男と常雇い（年200～220日）によって施設花き栽培を行っており、主にシクラメン（主にシュトラウス）、ペラルゴニウム（主にスウィートピンク）、カリブラコア（主にカリタステイク）、ハイドランジア（主にルビーレット）等の生産を行っている。長男の就農（平成21年）を機に、第二農場に鉄骨ハウスやパイプハウスを建設し、規模拡大を図るとともに施設と労力を平準化するための品目を組み合わせた周年生産体制を確立、更に持続的な経営、雇用、雇用環境の改善を目標に経営の安定と継承に努めている。

花き栽培技術について特に工夫した点は、良質鉢花の生産をするため、必要な作業は決して省かないように管理を心がけている。シクラメンの例では、葉組みは、通常の倍以上10回程度行い、花数を確保することで消費者の元へ届いてからもより長く美しく楽しめるシクラメン生産につながっている。また、品目により3種類のオリジナル配合用土を使い分けるなど用土にもこだわり、栽培管理のマニュアル化による品質安定生産技術の確立、作業の省力化・効率化、施設ローテーションの効率化・安定化に向けた品目の選定、品種の育成に努めている。

花きの出荷・販売については、鉢物生産者の販売促進研究グループに所属し、新たな消費・販売先の開拓やシクラメンの指定鉢による高付加価値化等様々な取り組みを行っている。各市場のトレードフェアや種苗会社のパックトライアル等に積極的に出向き情報を収集することで、消費者ニーズの把握に努めている。

労働軽減や雇用管理等については、底面給水の導入により、労力削減を実現し、ほかの作業への時間配分ができるようになったことで、品質向上につながった。雇用管理では、法人化の際に正社員採用を行い、社会保険への加入、福利厚生の実施に努めている。

地域社会活動としては、平成11年の栃木県鉢物研究会会長就任をはじめ、地域農業全般の中心的存在として活躍し、幅広く農業振興に貢献している。地域の研究会組織や、販売促進グループ内の生産者に広く栽培技術を公開し、各組織のレベルアップに大きく貢献している。また、地域の小学校の社会科見学の間として花育を推進しているほか、県内の農業高校へのシクラメンの苗提供や学生研修等も行い、後継者育成にも尽力している。



左から長男 祐樹氏 中央：妻 裕子氏 右：吉原 一成氏



第二農場



シクラメンのオリジナルラベル



シクラメン出荷



その他の品目

【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

米本 順二（よねもと じゅんじ） 米本 道子（よねもと みちこ）長崎県佐世保市

露地花き 苗物・切花（パンジー・ビオラ、ハボタン）

施設花き 鉢物・苗物（アルメリア、ランタナ、ポーチュラカ、ポインセチア、長崎ラベンダー、マンデビラ、チョコレートコスモス、ハイビスカス、ネメシア、マリーゴールドなど）

米本順二氏は、農林試験場で1年間花き栽培研修後、農林省農業者大学校に3年間在学し、昭和54年に就農、昭和61年道子氏と結婚した。

氏は、商品性の向上を模索する中で、オリジナル性に注目し、オリジナル商品の開発を開始した。結果、オリジナル商品は、市場の評価が良く希望単価で取引される等から地道に取り組みを拡大させ、10品種を超えるオリジナル品種を開発した。平成10年、長崎県立大村城南高校で暑さに強い2季咲きのオリジナルラベンダー「城南一号」が育成されると、その商品化を最初に発案し、県花き振興協議会ラベンダー部会で譲り受け生産を開始した。その後も新たな長崎県オリジナル品種の開発につなげている。

花き栽培技術について特に工夫した点としては、アブラムシ、アザミウマ等による食害やウイルスの媒介を防ぐために防虫ネットの設置、パンジーやビオラは、露地栽培を行うことで強く健康な苗を生産している。また、冬季には太陽光が重要であるとの考えから、多層被覆はサイドのみに行き、天井は行っていない。これにより植物が太陽光を十分に活用することができ、また、換気も十分におこなわれることから生育が良好となっている。栽培品目や作型を工夫することで施設をフル活用し、小面積でも高い収益を上げている。

花き出荷・販売については、安定した生産販売に向け、種苗会社を通じた契約販売を行っている。ラベンダー研究会のブログ「長崎ラベンダーだより」により、積極的に消費者へ情報発信を行うことで知名度向上を図っている。オリジナル商品の継続したPRにより、知名度が上がり定着したことで販売額が年々向上している。一部の商品は、通販を活用しているほか、市街地近郊という土地条件を生かし10月にパンジー、ビオラの即売会を行い消費者から好評を得ている。

労働軽減や雇用管理等については、中小企業退職金共済に加入し、従業員の離職率の減少、意欲アップを図っているほか、環境保全や省エネルギーについては、生物農薬を使用することで一般農薬の使用を減少させている。

妻道子氏は、農業士として活躍しており、農業大学校研修生を積極的に受け入れるなど後継者育成に尽力している。

なお、順二氏は、現在長崎県花き振興協議会鉢物部会ラベンダー研究会長を務めており、研究会としてのラベンダーの受注や出荷についての調整を行う等リーダーシップを発揮している。



左：米本 道子氏 右：米本 順二氏



ハウス内の様子



オリジナル商品「らびっと王国」



10月下旬に行うパンジー・ビオラ即売会の様子



冬の主力商品のアルメリア

(参考資料1)

花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール受賞者一覧

回(年度)	受賞区分	都道府県	受賞者名	生産品目	備 考
32回(令和4年度)	農林水産大臣賞	千葉県	三井 清和(三和園) 三井 てるみ	カーネーション(切り花)	
32回(令和4年度)	農林水産大臣賞	愛知県	岩瀬 全安(有限会社三洋園芸)	ハーブ苗:ローズマリー、ミント、バジルなど(苗物)	
32回(令和4年度)	農産局長賞	栃木県	吉原 一成(株式会社イッセイ花園)	シクラメン、マーガレット、ペラルゴニューム、カリブラコア、ハイドランジア、ジャメスプリタニア、アングロニア、アスターなど(鉢物)	
32回(令和4年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	米本 順二 米本 道子	露地花き バンジー・ビオラ、ハボタン(苗物・切花) 施設花き アルメリア、ランタナ、ボーチュラカ、ポインセチア、長崎ラベンダー、マンデビラ、チョコレートコスモス、ハイビスカス、ネメシア、マリーゴールドなど(鉢物・苗物)	
31回(令和3年度)	農林水産大臣賞	愛知県	渡辺 宏修(半助園芸) 渡辺 律子	アジサイ、ポットマム、コデマリ、ポリゴナム、アカシア、ユーカリ(花木・鉢物)	
31回(令和3年度)	農産局長賞	岩手県	花巻農協 西和賀花卉生産組合 (代表者名 高橋 文昭)	リンドウ(切り花)	
31回(令和3年度)	農産局長賞	長崎県	後田 豊喜 後田 みどり	カーネーション、ラナンキュラス、トルコギキョウ(切り花)	
31回(令和3年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	千葉県	岡本 成生	シクラメン、カーネーション、サイネリア、インパチェンス、ピンカ、パンジー、ビオラ(鉢物)	
31回(令和3年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	山口 庄次 山口 智美	キク(切り花)	
30回(令和2年度)	農林水産大臣賞	群馬県	今井 善園	バラ(切り花)	
30回(令和2年度)	生産局長賞	愛知県	森田 広幸(有限会社バラ屋 代表取締役)	ミニバラ、ベリー類、ヒイラギ、ハツユキカズラ(鉢物)	
30回(令和2年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	上野 周二 上野 登美子	キク(切り花)	
30回(令和2年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	熊本県	宇藤 康博 (有限会社ウトウファーム 代表取締役)	オリエンタルユリ、スターチス、ストック(切り花)	
29回(令和元年度)	農林水産大臣賞	埼玉県	山下 徳弥	バンジー、ビオラ、ポットマム、ペチュニア、ニチニチソウ、カリブラコア、ラベンダー、ダイアンサス、ハボタン、チュウリップ等(苗物・鉢物)	第59回農林水産祭 天皇杯受賞
29回(令和元年度)	生産局長賞	岐阜県	古川 正敏	ミニバラ、ハボタン、多肉植物、松盆栽、等(苗物・鉢物)、ハーバリウム	
29回(令和元年度)	生産局長賞	愛知県	西三河農業協同組合デルフィニウム部会 (代表者名 尾崎 満)	シネンシス系デルフィニウム(切り花)	
29回(令和元年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	本多 博樹 本多 洋子	キク(切り花)	
28回(30年度)	農林水産大臣賞	愛知県	高橋 成治	セダム、エケベリア等300種、グリーンネックレス	
28回(30年度)	生産局長賞	埼玉県	清水 秀一	ヘデラ、キツタ、テイカカズラ等、緑化ユニット	
28回(30年度)	生産局長賞	大阪府	JA大阪泉州花卉生産出荷部会 (代表者名 奥 安則)	アイリス、グラジオラス、リアトリス、ユリ、ケイトウ、フリージア	
28回(30年度)	生産局長賞	福岡県	南里 優 南里 美紀	コチョウラン	
28回(30年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	武富 政敏	トルコギキョウ、スイートピー、シンテツボウユリ	
28回(30年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	開田 浩幸 開田 陽子	カーネーション、コギク、ハボタン	
27回(29年度)	農林水産大臣賞	岐阜県	戸崎 明	ユリオプスデージー、フランネルフラワー、ジャスミン、ブルーデージー、スノーサンゴ、ノボタン(鉢物)	
27回(29年度)	農林水産大臣賞	愛知県	藤目 方敏	キク、スプレーギク(切り花)	
27回(29年度)	生産局長賞	栃木県	角田 盛一	スイートピー、ヒマワリ、ユーカリ等(切り花)	
27回(29年度)	生産局長賞	埼玉県	須永 健司 須永 菜穂美	ガザニア、オステオスペルマム、ブルーデージー、ゴールドコイン、ブラキカム、マーガレット、オキザリス、バンジー・ビオラ、マリーゴールド、ニチニチソウ、ペチュニア、アレナリア等(鉢物・苗)	
27回(29年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	徳永 憲昭	コチョウラン(鉢物・苗)	
27回(29年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	森 敏朗 森 千佳子	キク(切り花)	
26回(28年度)	農林水産大臣賞	愛知	曾田 義則	サボテン類、アロエ、エケベリア、カランコエ、クラッスラ、セダム、ハオルチア、ユーフォルビア等(鉢物)	
26回(28年度)	農林水産大臣賞	福岡	坂本 和盛	シクラメン、アジサイ、バラ(鉢物)	
26回(28年度)	生産局長賞	埼玉	篠 太一	ポインセチア、マリーゴールド、インパチェンス、ノースポール(鉢物・苗物)	
26回(28年度)	生産局長賞	岐阜	白木 裕人	ヤブコウジ、ブルーベリー等(鉢物・苗物)	
26回(28年度)	生産局長賞	熊本	五蘭塾(塾長 中川圭太)	オンシジウム、ファレノプシス、エビデンドラム、デンファレ等(切り花・鉢物)	
26回(28年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎	丸田 浩行	キク(切り花)	
25回(27年度)	農林水産大臣賞	埼玉	萩原 幸一	ケイトウ、ポインセチア、プリムラ、アツプルゴーヤ、縄文ネギ(鉢物・花壇苗)	
25回(27年度)	農林水産大臣賞	愛知	近藤 晴義	ガーデンバラ苗、ミニツルバラ(鉢物・花苗)	
25回(27年度)	生産局長賞	福島	佐藤 幸一 佐藤 朝子	シクラメン、アジサイ、ユリ、チュウリップ、カーネーション(鉢物)	
25回(27年度)	生産局長賞	佐賀	平田 憲市郎 平田 志緒梨	カーネーション(切り花)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岩手	岩手ふるさと農協園芸部会りんどう専門部 (代表者 鈴木 喜一)	リンドウ(切り花)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	広島	有田 隆則	バンジー、ビオラ、マリーゴールド、ペチュニア、ニチニチソウ(花壇苗)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎	お花屋さん百花園有限会社 代表 渡邊 徳昭	キク(切り花)	

24回(26年度)	農林水産大臣賞	岩手	新岩手農業協同組合 八幡平花卉生産部会 (代表者 高村敏彦)	リンドウ(切り花・鉢物)	第54回農林水産祭 天皇杯受賞
24回(26年度)	農林水産大臣賞	埼玉	朝見 良治	ガーデンシクラメン、ポットカーネーション、イベリス、ランシキウス、ペラルゴニウム、ポインセチア、ニチニチソウ、クロサンドラ、カラー、プリムラ等(鉢物・苗物)	
24回(26年度)	生産局長賞	愛知	梶 孝光	コギク(切り花)	
24回(26年度)	生産局長賞	福岡	豊田 武 豊田 千代子	キク、トルコギキョウ、アスター等(切り花)	
24回(26年度)	生産局長賞	長崎	前田 耕一 前田 綾子	シキミ等(切葉)	
24回(26年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岐阜	島部 勝昌	エラチオールペゴニア(鉢物)	
23回(25年度)	農林水産大臣賞	山形	大築 義雅 大築 実千代	ミニシクラメン、カーネーション、ハボタン、その他花苗(鉢物・苗物)	
23回(25年度)	農林水産大臣賞	埼玉	フカヤスリーエフクラブ (代表者 関和勝宏)	ユリ(切り花)	
23回(25年度)	生産局長賞	岩手	坂戸 明夫 坂戸 チヨ	リンドウ(切り花)	
23回(25年度)	生産局長賞	愛知	荒木 祥充	アンズリウム、フィロデンドロン、アナナス類、カラテア、ヘリコニア、シダ類等(鉢物)	
23回(25年度)	生産局長賞	長崎	吉塚 正弘 吉塚 友子	カーネーション、ガーベラ(切り花)	
23回(25年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岐阜	高橋 明利	ガーベラ(切り花)	
23回(25年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	福井	JAテラル越前キク部会 (代表者 三浦慶昭)	コギク、リングク(切り花)	
22回(24年度)	農林水産大臣賞	福島	有限会社矢祭園芸 代表金澤 善浩	カーネーション、シクラメン、シュウメイギク、プリムラポリアンサ、プリムラマラコイデス等(鉢物・苗物)	
22回(24年度)	農林水産大臣賞	愛知	株式会社豊楽園 (取締役会長 斎藤豊治) (代表取締役社長 斎藤健治)	フィロデンドロン、フィットニア、ブミラ、ワイヤープランツ、シンゴニウム、ペペロミア等(鉢物)	
22回(24年度)	生産局長賞	福岡	花田 哲治 花田 泰子	バラ、ユリ(切り花)	
22回(24年度)	生産局長賞	沖縄	新垣 進	コギク(切り花)	
22回(24年度)	生産局長賞	石川	金沢市砂丘地集出荷場 フラワー部会	ストック、切り花ハボタン、フリージア(切り花)	
22回(24年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	坂井 浩一郎	キク(切り花)	
22回(24年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	いわい東農業協同組合 花き部会小菊専門部	コギク(切り花)	
21回(23年度)	農林水産大臣賞	佐賀	小柳 誠五 小柳 一枝	ユリ(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	神奈川	有限会社五領ヶ台ガーデン (代表取締役 窪田敬一)	シクラメン、ニューギニアインパチェンス、ナスタチューム、プリムラジュリアン等(鉢物)	
21回(23年度)	生産局長賞	愛知	稲垣 長太郎	カーネーション(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	長崎	有限会社金原園芸 (代表取締役 金原由紀男)	キク(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	熊本	坂崎 改輝 坂崎 久子	シュッコンカスミソウ(切り花)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	吉澤 明弘	シクラメン、ハイビスカス、オステオスペルマム、ビオラ、クリサンセマム等(鉢物)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	牛島 博文	ガーベラ(切り花)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	JAひだ花卉出荷組合 菊部会 (代表者 野谷智樹)	キク(切り花)	
20回(22年度)	農林水産大臣賞	埼玉	有限会社横川花園 代表取締役横川保次	ユリ、チューリップ、ギボウシ等(鉢物)	
20回(22年度)	生産局長賞	岐阜	河合 修	アルストロメリア(切り花)	
20回(22年度)	生産局長賞	福岡	安田 克徳 安田 節子	サカキ、花桃、ニューサイラン、しめ縄、門松、松竹梅等(花木・枝物類)	
20回(22年度)	生産局長賞	長崎	山口 政則 山口 和代	カーネーション(切り花)	
20回(22年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	伊藤 正規	シンビジウム、コチョウラン、ミルトニア(鉢物洋らん類)	
19回(21年度)	農林水産大臣賞	埼玉	塩原 茂夫	アジサイ、ポインセチア(鉢物)	
19回(21年度)	農林水産大臣賞	大分	有限会社お花屋さんぶんご清川 代表取締役社長 小久保恭一	リングク(切り花)	第49回農林水産祭 天皇杯受賞
19回(21年度)	生産局長賞	宮城	石巻農業協同組合 花卉部会ガーベラ班	ガーベラ(切り花)	
19回(21年度)	生産局長賞	愛知	櫛田 倉司	リングク(切り花)	
19回(21年度)	生産局長賞	大阪	梶本 定敏	ユリ、アイリス等(球根切り花)	
18回(20年度)	農林水産大臣賞	愛知	小松 英雄	アンズリウム(鉢物)	
18回(20年度)	農林水産大臣賞	福岡	浜野 重登 浜野 明美	バラ(切り花)	
18回(20年度)	生産局長賞	埼玉	安藤 貢	アガパンサス等(苗物)	
18回(20年度)	生産局長賞	岐阜	有限会社サンコフ	セントポーリア等(鉢物)	
18回(20年度)	生産局長賞	大阪	稲治 義彦	シャクヤク等(露地花き)	
18回(20年度)	生産局長賞	長崎	柴田 定實 柴田 富子	キク(切り花)	
18回(20年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	石井 克明	バラ(切り花)	

17回(19年度)	農林水産大臣賞	埼玉	黒田 秀之	コチョウラン(鉢物)	
17回(19年度)	農林水産大臣賞	岐阜	吉田 正博	ガーベラ等(鉢物)	
17回(19年度)	生産局長賞	千葉	平野 圭祐	アンズリウム(切り花)	
17回(19年度)	生産局長賞	神奈川	加藤 悟	シンビジウム(鉢物)	
17回(19年度)	生産局長賞	愛知	平野 和美 平野 照美	ポインセチア等(鉢物)	
17回(19年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	石橋 正基	カーネーション(切り花)	
16回(18年度)	農林水産大臣賞	千葉	丸朝園芸農業協同組合 花卉部 (部長)飯高 重雄	サンダーソニア等(切り花)	
16回(18年度)	農林水産大臣賞	福岡	空閑 善実 空閑 桂子	パンジー等(苗物)	
16回(18年度)	生産局長賞	鹿児島	サンライズグリーンヒル 観葉生産組合 (代表者 福留 健一)	オーガスタ等(観葉植物)	
16回(18年度)	生産局長賞	愛知	伊藤 勝久	シクラメン等(鉢物)	
16回(18年度)	生産局長賞	長崎	立石 俊一	バラ(切り花)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	澤瀬 一男 澤瀬 ロシタ	コギク等(切り花)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	樋口 喜善	パンジー等(苗物)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	真子 徳幸	キク(切り花)	
15回(17年度)	農林水産大臣賞	埼玉	田島 嶽	ガーデンシクラメン(苗物)	
15回(17年度)	生産局長賞	群馬	小倉 文雄	シクラメン等(鉢物)	
15回(17年度)	生産局長賞	愛知	内藤 完次	バラ(切り花)	
15回(17年度)	生産局長賞	長崎	JA壱岐市花き部会 (代表者)下條利一	コギク等(切り花)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	高木 兼雄	スパティヒラム(鉢物)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	玉城 昌伸	キク(切り花)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	蔵下 良彦	キク(切り花)	
14回(16年度)	農林水産大臣賞	東京	八丈島農業振興青年研究会 鉢物部会 (代表者)大沢猛邦	フェニックス等(鉢物)	
14回(16年度)	農林水産大臣賞	岐阜	株式会社西垣園芸 西垣 正俊	オステオスペルマム(苗物)	
14回(16年度)	生産局長賞	宮城	株式会社ハニーローズなんごう (代表者)檜山 恒雄	バラ(切り花)	
14回(16年度)	生産局長賞	愛知	株式会社H&Lプランテーション 鵜飼 敏之 鵜飼 浩	パンジー等(苗物)	
14回(16年度)	生産局長賞	福岡	高橋 三千年 高橋 節子	バラ(切り花)	
14回(16年度)	生産局長賞	鹿児島	小村 幸一	パキラ等(観葉植物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	神藤 正和	ハボタン等(苗物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	谷崎 隆雄	ハナモモ等(切り枝花木)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	尾崎 進一郎	シンビジウム(鉢物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	松永 宏隆	ユリ(切り花)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	JA東長崎菊部会 (代表者)松尾 修一	キク(切り花)	
13回(15年度)	農林水産大臣賞	徳島	有限会社岸本農園 岸本 昇 岸本ときこ	ハイビスカス等(鉢物)	
13回(15年度)	農林水産大臣賞	鹿児島	有限会社南原農園 南原 武博	ジャスミン等(切り花)	
13回(15年度)	生産局長賞	岐阜	有限会社白木園芸 白木 和彦 白木ふさ子	レッドロビン等 (洋蘭・観葉植物)	
13回(15年度)	生産局長賞	佐賀	宮崎 憲治	スイトピー等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	JAひだ花卉出荷組合 益田支部 (代表者)中川 剛	キク等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	山田 則明	カーネーション等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	緒方 久幸	ガーベラ(切り花)く	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	西海菊出荷組合 (代表者)川内 通良	キク(切り花)	
12回(14年度)	農林水産大臣賞	愛知	石井 義明	アルストロメリア(切り花)	第42回農林水産祭 内閣総理大臣賞受賞
12回(14年度)	生産局長賞	埼玉	成澤 勝司	マリーゴールド(苗物)	
12回(14年度)	生産局長賞	鹿児島	柴崎 喜好	アイビー等(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	石川 正樹 石川 結花	ユリ(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	川端 芳彦 川端 葉子	ユリ等(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	稲田 良弘	コチョウラン(鉢物)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	小西 幸彦	マツ(盆栽)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	徳永 健史	コチョウラン(切り花・鉢物)	

11回(13年度)	農林水産大臣賞	埼玉	小林 滋幸	カランコエ(鉢物)	
11回(13年度)	農林水産大臣賞	長崎	JA北高電照菊研究会 (代表者)大谷 虎次	キク(切り花)	
11回(13年度)	生産局長賞	埼玉	田中 勲	シクラメン等(鉢物)	
11回(13年度)	生産局長賞	岐阜	河野 鉄博 河野 常子	ラナンキュラス等(切り花)	
11回(13年度)	生産局長賞	愛知	林 富造 林 房子	シンビジウム(鉢物)	
11回(13年度)	生産局長賞	佐賀	菫蒲 正行	トルコギキョウ等(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	中辻 栄治	キク(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	石田 律恵	レースフラワー等(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	阿部 雅志	シンビジウム(鉢物)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	森 崇	バラ(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	高埜 義邦	ユリ等(切り花)	
10回(12年度)	農林水産大臣賞	岐阜	大西 隆	ミニバラ(鉢物)	第40回農林水産祭 天皇杯受賞
10回(12年度)	農林水産大臣賞	鹿児島	沖永良部花き流通センター (代表者)泉 貞吉	テッポユリ等(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	群馬	林 康夫	シクラメン等(鉢物)	
10回(12年度)	生産局長賞	香川	農事組合法人香花園 (代表者)保坂重雄	カーネーション(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	大分	有限会社メルヘンローズ (代表者)小畑和敏	バラ(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	沖縄	玉城 哲弘	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	谷藤 幸子	リンドウ等(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	山梨	農事組合法人 白根フラワーコーポラティブ	インパチェンス等(鉢物)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	伊奈 義就	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	宮脇 孝	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	藤本 傳夫	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	中園 英治	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	江頭 富春	カーネーション等(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	鹿児島	富田 良成	バラ(切り花)	
9回(11年度)	農林水産大臣賞	埼玉	奥富 良雄	チューリップ等(苗物)	
9回(11年度)	農林水産大臣賞	愛知	角田 隆幸	ハボタン等(苗物)	第39回農林水産祭 内閣総理大臣賞受賞
9回(11年度)	農産園芸局長賞	宮城	宮城県南三陸農業協同組合 花き部会	キク(切り花)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	山梨	渡辺 喜市	サンダーソニア等(切り花)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	滋賀	小杉 長男	シクラメン等(鉢物)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	沖縄	大城 清利	キク(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	菅原 武男	リンドウ(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	栃木	田代 正行	カーネーション(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	木村 実	バラ(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	中村 元夫	ディフィニウム等(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉川 公彦	キク等(花苗)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	朝海 常祐	キク(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	高尾 保徳	ゴールドクレスト等(花木)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	小嶺 敏博	コウチョウラン等(鉢物)	
8回(10年度)	農林水産大臣賞	岐阜	間宮 敏昭	ハイビスカス等(鉢物)	
8回(10年度)	農林水産大臣賞	福岡	井上 茂之	トルコギキョウ等(切り花)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	埼玉	戸谷 武雄	シュツコンアスター(切り花)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	静岡	服部 一夫	クルクマ等(鉢物)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	京都	清水 幸雄	ケンガイキク(鉢物)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	長崎	鹿山 雅勝	カーネーション等(切り花)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	新潟	渡邊 和芳	ユリ(切り花)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	三重	松尾 廣文	シクラメン等(鉢物)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉本 利郎	バラ(切り花)	

7回(9年度)	農林水産大臣賞	宮 城	平間 久義	ハーブ等(苗物)	
7回(9年度)	農林水産大臣賞	静 岡	とびあ浜松農業協同組合 PCカーベラ販売部会	ガーベラ(切り花)	第37回農林水産祭 天皇杯受賞
7回(9年度)	農産園芸局長賞	青 森	竹ノ原幸悦	カーネーション等(切り花)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	埼 玉	立石 勝義	ポインセチア等(鉢物)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	福 岡	南嶋精二郎	ベゴニア等(苗物)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	長 崎	本田 敏秀	カーネーション等(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐 阜	フローラぎふOKI	カランコエ(鉢物)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京 都	月本 雅治	バラ(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	兵 庫	中岡 邦康	カーネーション(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大 分	市川 一清	スイートピー等(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖 縄	渡久山 稔	キク(切り花)	
6回(8年度)	農林水産大臣賞	栃 木	菱沼 軍次	シクラメン等(鉢物)	
6回(8年度)	農林水産大臣賞	静 岡	大庭 孝史	バキア等(観葉植物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	埼 玉	新 博之	カランコエ等(鉢物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	京 都	寺内 一郎	パンジー等(苗物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	福 岡	大隈 博幸	バラ等(切り花)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	沖 縄	外間 勝義	キク等(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	宮 城	斉藤 達義	シクラメン等(鉢物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	群 馬	小嶋 宏	バラ(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐 阜	安保 幹太	シンビジウム等(鉢物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈 良	堀田 泰規	プリムラ等(苗物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	高 知	広岡 稔	アイリス等(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	高 知	小池 龍善	キク等(切り花)	
5回(7年度)	農林水産大臣賞	岐阜	福田 誠	セントポーリア等(苗物)	
5回(7年度)	農林水産大臣賞	福岡	波佐間 廣美	ディフェンバキア等(観葉植物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	群馬	萩原 久雄	シクラメン等(鉢物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	埼玉	千野 純一	インパチェンス等(鉢物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	大分	飯田花き生産組合 (代表)時松 謙	バラ等(切り花)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	沖縄	宮平 憲勇	キク(切り花)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	宮城	手島 徹	シクラメン等(鉢物)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	金本 達夫	バラ(切り花)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	矢野 伸太郎	ストック(切り花)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	多田 護	ペニカナメモチ(植木)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	水田 義雄	キク(切り花)	
4回(6年度)	農林水産大臣賞	宮城	渡辺 俊	シクラメン等(鉢物)	
4回(6年度)	農林水産大臣賞	埼玉	金子 正	カラジューム等(鉢物)	
4回(6年度)	農産園芸局長賞	群馬	中山 忠義	洋ラン(切り花・鉢物)	
4回(6年度)	農産園芸局長賞	福岡	和佐野 喜代太	コチョウラン等(鉢物)	
4回(6年度)	農産園芸局長賞	佐賀	中江 広域	キク(切り花)	
4回(6年度)	農産園芸局長賞	大分	志賀 智貴	ユリ(切り花)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	木村 勇一	ブラグ苗等(苗物)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	林 一郎	ポインセチア等(鉢物)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	明崎 勝治	ダリア等(切り花・球根生産)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	町田 一弘	スイートピー等(切り花)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	鹿児島	利田 正明	カーネーション等(切り花)	
3回(5年度)	農林水産大臣賞	茨城	鈴木 隆	ホウズキ等(鉢物)	
3回(5年度)	農林水産大臣賞	沖縄	亀谷 英雄	キク等(切り花)	
3回(5年度)	農産園芸局長賞	秋田	三浦 康之	トルコギキョウ等(切り花)	
3回(5年度)	農産園芸局長賞	群馬	小内 敬一	アジサイ等(鉢物)	
3回(5年度)	農産園芸局長賞	埼玉	矢作 文夫	カトレア等(鉢物)	

3回(5年度)	農産園芸局長賞	高知	山崎 廣美	ユリ等(切り花)	
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	森島 衛樹	ハナショウブ等(切り花)	
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉川 喜一	シクラメン等(鉢物)	
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	沖野 高人	(花木)	
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	田代 恒夫	バラ等(切り花)	
2回(4年度)	農林水産大臣賞	栃木	渡辺 武雄	コチョウラン等(鉢物)	
2回(4年度)	農林水産大臣賞	静岡	渡辺 偉	クレマチス等(苗物)	
2回(4年度)	農産園芸局長賞	岩手	畠山 正徳	リンドウ等(切り花)	
2回(4年度)	農産園芸局長賞	群馬	大沢 憲一	バラ(切り花)	
2回(4年度)	農産園芸局長賞	東京	浅沼 一治	フェニックス等(鉢物)	
2回(4年度)	農産園芸局長賞	福岡	和佐野勝次	リンドウ等(切り花)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	町田 静吾	バラ(切り花)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	竹内 栄一	バラ(切り花)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	今村 喜和	キク等(切り花)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉村 隆明	インパチエンス等(鉢物)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	藤原 博文	キク(切り花)	
1回(3年度)	農林水産大臣賞	岩手	猿子 恵久	アルストロメリア等(切り花)	
1回(3年度)	農林水産大臣賞	埼玉	本多 忠夫	シクラメン等(鉢物)	
1回(3年度)	農産園芸局長賞	栃木	菱沼 軍次	シクラメン等(鉢物)	
1回(3年度)	農産園芸局長賞	群馬	坂本 正次	アジサイ等(鉢物)	
1回(3年度)	農産園芸局長賞	長野	筒井 基博	シクラメン等(鉢物)	
1回(3年度)	農産園芸局長賞	岐阜	河本 弘元	バラ(切り花)	
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	静岡	岩倉 廣治	(観葉植物)	
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	完岡 義清	カキツバタ(切り花)	
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	中本 博文	ハボタン等(苗物)	
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	時松 謙	バラ等(切り花)	

(参考資料2)

**第32回花の国づくり共励会
花き技術・経営コンクール実施要領**

1. 目 的

我が国の園芸の将来を担い、かつ国民生活に潤いと安らぎをもたらすものとして重要な役割を担っている花きについて、生産分野の技術・経営の向上・発展を図ることを目的とする。

2. 開催団体

- (1) 主 催 一般財団法人日本花普及センター
- (2) 後 援 農林水産省
- (3) 協 賛 一般社団法人日本花き生産協会
一般社団法人日本花き卸売市場協会
一般社団法人全国農業改良普及支援協会

3. 出品資格

露地花きにあつては栽培面積が1ha以上、施設花きにあつては栽培面積が50a以上の花き生産を主とする農業者等であつて、技術・経営に優れ、地域社会に支持と共感を得ているものとする。

4. 出品方法

出品は、自薦、他薦を問わず、「花の国づくり共励会－花き技術・経営コンクール応募用紙」に所定の事項を書き込み、それに基づく経営及び活動の記録等の必要な資料を添付して提出する。

5. 審査方法

(1) 予備審査

一般財団法人日本花普及センターは、自薦、他薦を問わず応募用紙が提出された出品財について、書類審査等により本審査の対象となる出品財を選考する。

(2) 本審査

付属資料2の審査委員は、付属資料1の審査基準に基づき書類審査、必要に応じて現地調査を実施して、公正な審査を行う。

6. 表 彰

- (1) 特に優秀と認められた出品財に対して農林水産大臣賞（2点）、優秀と認められた出品財に対して農産局長賞（4点）、一般財団法人日本花普及センター会長賞（数点）をそれぞれ授与する。

- (2) 農林水産大臣賞出品財は、国の定める「農林水産祭表彰要領」に基づき天皇杯等の選

賞資格を有する。

- (3) 次に掲げる基準のいずれかに該当し、かつ経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる場合にあっては、夫婦連名で表彰することができる。

但し、農林水産祭参加行事の農林水産大臣賞並びに農産局長賞に限る。

- ① 家族経営協定を締結していること。
 - ② 推薦書等において経営主の配偶者の作業分担、従事日数等が概ね5割に達していることと確認できること。
 - ③ 農業改良普及センターなどの現場指導組織による意見書が添付されていること。
- なお、推薦の段階で夫婦連名であるものについては、一般財団法人日本花普及センター会長賞についてもこれに準ずる。

7. 事務局

標記コンクールを実施するため、事務局を一般財団法人日本花普及センター内に設置する。

8. 開催日程

- | | |
|------------|----------------------------|
| (1) 出品募集期間 | 令和4年9月1日～10月31日 |
| (2) 予備審査 | 令和4年11月上旬 |
| (3) 本審査 | 令和4年12月13日(火) |
| | エッサム神田1号館 9階プレゼンルーム902号室 |
| | ※会場とZoomによるリモート審査会 |
| (4) 現地調査 | 令和4年12月24日(土) 千葉県 |
| | 令和4年12月27日(月) 愛知県 |
| (5) 受賞者発表 | 令和5年 2月 3日(金) プレスリリース |
| | ※受賞者の発表のみとして表彰式の開催はございません。 |

(付属資料 1)

花き技術・経営コンクール審査基準

- 1 立地条件を活かした合理的、安定的な経営であること
- 2 経営に計画性と展望をもち、近代化、拡大化の方向をたどっていること
- 3 消費動向を的確にとらえ、消費者ニーズに応える経営を行っていること
- 4 栽培技術は、科学的基礎に基づき、その水準が高く優れ、改善意欲が盛んなこと
- 5 生産基盤の整備、資本整備の投資がかなり行われ、その利用効率が高いこと
- 6 土地利用及び労働力利用が合理的であること
- 7 生産性が高く所得が水準以上と認められること
- 8 労働軽減等により、ゆとりある農業を実現していること
- 9 環境保全に対する工夫や配慮が見られること
- 10 国際化対応を考慮した経営がなされていること

(付属資料 2)

第32回(令和4年度) 花き技術・経営コンクール審査員名簿

順不同

氏 名	所 属 ・ 役 職
腰岡 政二	公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事
土井 元章	京都大学大学院 教授
河野 恵伸	国立大学法人 福島大学 農学群食農学類農業経営学コース 教授
長村 智司	一般社団法人フラワースサイエティ 会長
岡本 正夫	一般社団法人日本花き生産協会 顧問
長岡 求	株式会社フラワーオークションジャパン 顧問

第32回花の国づくり共励会

花き技術・経営コンクール受賞者の業績概要

令和5年2月発行

編集・発行 一般財団法人日本花普及センター

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743

e-mail : jfpc@jfpc.or.jp URL : <http://www.jfpc.or.jp>



いいこと
あった日、
花を買う。

花っていいよね。キャンペーン